

令和3年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 自己評価書

校長 鈴木 康弘 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 確かな学力づくりと健やかな体づくり
- (2) 全教職員の心をつなげる校内研修、OJTを通しての人材づくり
- (3) 人と組織が生き生きと動く活力に満ちた学校づくり
- (4) 潤いのある環境づくりと豊かな心の育成
- (5) 地域に信頼され誇りとされる魅力ある学校づくり（学校運営協議会の準備を推進する）
- (6) 教職員の働き方改革の推進

2 評価結果について（成果：○ 課題：●）

(1) 児童からの評価

○前年度同様に肯定的な評価が多い。肯定的な評価は平均92%（前年度93%）で、これを超えたものを次に示す。「進んで学習している」94%（前年度より+3%）、「友達と仲良く協力している」97%（前年度より+1%）、「体育など進んで運動している」94%（前年度より+2%）、「挨拶をしている」93%（前年度と同じ）、「健康で安全な生活を送っている」96%（前年度より+6%）となっている。

●平均の92%に届かなかったものを次に示す。児童の自己評価の「進んで本を読んでいる」78%（前年度より-5%）、「困ったときに相談できる先生がいる」90%（前年度より+6%）となっている。これらはコロナウイルス感染防止の対応が、影響したと考えられる。

(2) 保護者からの評価

○肯定的な評価の平均は90%（昨年度84%）であった。平均で6%向上しているが、昨年度は無記名で今年度は記名で実施していることが影響していると考えられる。90%以上でよかったものを次に示す。「学習」95%（前年度より+2%）、「友達関係」95%（前年度より+3%）、「教育環境」95%（前年度より+17%）、「トラブル対応」93%（前年度より+8%）、「読書」91%（前年度より+4%）となっている。多くのものが90%以上であったことから、保護者は概ね学校の教育活動を評価していると思われる。

●平均の90%に届かなかったものを次に示す。「運動」87%（前年度と同じ）、「あいさつ」75%（前年度より+7%）となっている。

(3) 教職員からの評価

○昨年度一番課題の多かった「働き方改革」の肯定的な評価が、44%から69%に増えた。勤務時間の割振の改善や学年ごとにノー残業デーを実施したことなどが良かったようである。また、二番目に課題の多かった「学校課題研究」が61%から81%へ、「清掃活動」が61%から88%へと向上した。

●課題が35%を超えたのは、「年代に応じた研修」についてである。昨年度は、課題が18%であった。課題が増えた原因は、産休者が増えるとともに臨任の教職員の数も増え、経験の少ない教職員が多くなる一方で、ベテランの教員の数減ったことだと考えられる。ただし、昨年度より若い臨任の教職員への支援の時間はかなり増えているが、それが全体に理解されていないことが背景にある。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

児童対応の読書については、来年度から借りる冊数を増やす予定である。「トラブル対応」については、教職員や保護者からはいい評価となっているが、さらに重点化して肯定的な評価を高めていく。

保護者対応の「運動」に関しては、新型コロナウイルス感染症防止を維持したまま、運動の機会を増やせるように計画する。「あいさつ」については、家庭・地域と協力して取り組んでいく予定である。

教職員では課題の数値の高い「年代に応じた研修」と「働き方改革」について、個人の理由を細かく分析して改善策を実施していく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。